

# 桃源郷を直進！

木村佳司

山梨の春は桃の季節でもある。桃の花の下を歩き、走るとそれだけで幸せな気持ちになれる。

## 春爛漫の桃源郷

4月14日は全国あちこちで大会が開催されていました。私は山梨県塩山市の桃季の里オリエンテーリング大会に参加させていただきました。昭和の時代の良き時代を思い出させる、そして幸せな気分になれる、そんな大会でした。

トレインは桃の畑にすっぽりと覆われています。春爛漫の桃の花、新緑の木々、春の日差し。ウォーキング、ハイキングだけでも十分に気持ちの良い場所でした。そんな桃の里をトレインに、大勢参加者が右往左往。

地元の塩山市が主催しているあって、地元広報体制が良かったようです。地元の方が多数参加されていました。



コース中盤のコントロールにて。頭を悩ませながら次にどのコントロールを目指すか考えています。

携帯電話を片手にコースを回る女子中学生、いかにも体育系のノリで全力疾走する男子高校生、桃の花をみながらそぞろ歩きのご老人たち。それぞれ思い思いのスタイルでオリエンテーリングを、春の里を楽しんでいました。参加者は500人くらいいたのではないのでしょうか。

## 老若男女でスコア0

さて、私の参加したのは、120分のスコア0。私と、息子のトモヨシ君と妻の3人で参加です。

地図は1:7,500でA3サイズ。

スタート前に思ったことは、

(1) 120分のスコアなんて、全部コントロールを回れる人が続出するだろう。

(2) トモヨシ君は120分持たずに疲れ果ててしまうだろう。

塩山北中学校の校庭で、競技の説明を受けて、300名近くが一斉にスタート。このスタートの瞬間は男子高校生などが勢よく飛び出してゆきます。すぐに車道を渡るのです

が、このスタートの時だけは安全協会による交通規制が行われます。とはいえ主催者としてはヒヤヒヤものの。

さて、家族3人で歩くくらいのつもりで、スタートしたスコア0なのですが、トモヨシ君が走ってゆくのでみんなで走り始めます。そう、回りの中学生などはガンガンと走っている。これにつられていくのです。

みんなペース配分などという言葉はどこかに忘れていた。市民向け大会だって、競技が始まってみれば、こんなものです。



スコアのスタートで作戦を立てるシニア夫婦の参加者

最初のコントロールに向かう登りの途中でお母さんがペースダウントモヨシ君、ここでお母さんをさっさと切り離します。スペースシャトルのブースター状態です。

でもいいんです。この大会にはグループクラスはありません。全員が地図とコントロールカードを持っているので離合集散は自由にできるのです。こんなところは主催者の意気込みを感じるところですね。

## 市民大会に向けたトレイン

トレインは緩やかな傾斜地に広がる古くからの農業集落で、農業用の小径や小道が発達しています。それが複雑に繋がっており市民大会



にはぴったりの難易度を作り出しています。

トモヨシ君も頭を悩ませながら、道の分岐ごとに立ち止まってはいろいろと考えているようでした。ところどころ交通量の多い道路がありますので、そこさえ気をつければ楽しいハイキング系テレインです。

ところで、地図が妙に白いのです。そう桃の畑の部分には白。もちろん耕作地なのですがこの時期は立ち入り可能のようです。コースも桃畑を横切するようなセッティングがされていますし、参加者もどんと桃畑を直進してゆきます。足元もしっかりしているし、見とおしも非常に良いので、初心者でも安心の直進です。めくるめく桃の花をくぐりながら直進する快感は、この大会ならではの。

さて、結局トモヨシ君は90分ちょっとで、スコア満点を回ってしまいました。

上機嫌でコースを回っていると、神社の階段で疲れ果てた中学生集団が一休みしています。こういった市民系オリエンテーリングイベントでは良くみかける風景ですね。

### 昭和の良き時代の雰囲気

会場では、多くのボランティアが大会を支えていました。昭和の時代に多く見られた、行政と地域による大会運営がありました。

ゴール後のクィサービス。会場で食べるホウトウ。家族で参加して楽しめるイベントになっていました。そういえば、子供連れのオリエンティアが会場には結構いました

ね。

東京オリンピック時代に、国民体力づくり事業の一環として、日本に導入されたオリエンテーリング。オリエンテーリングにとっての良き時代だった昭和50年代を思い起こさせるような雰囲気イベントでした。

今のオリエンテーリングイベントは行政からの援助も少ないため、熱心な愛好家だけのものとなりつつありますが、今回のイベントは日本オリエンテーリングの原点を思い起こさせる、とても楽しいものでした。

塩山市、関係者のみなさん、甲斐駒 OLC のみなさんおつかれさまでした。



スコアの(イ) (ア)に向けて地図の白い部分を直進しているところ。白い部分は単なる林ではなく、桃の畑の中。満開の桃の花をくぐり抜けて次のコントロールを目指すこの気持ち良さは、この大会ならではの。地図は 1:7,500 等高線間隔は 2m

